

2020年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月9日

上場会社名 ニッケ（日本毛織株式会社） 上場取引所 東
 コード番号 3201 URL <http://www.nikke.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）富田 一弥
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経営戦略センター財經室長 （氏名）藤原 浩司 TEL 06-6205-6635
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2020年11月期第3四半期の連結業績（2019年12月1日～2020年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第3四半期	76,492	△15.4	6,621	△12.4	7,411	△8.4	4,120	△22.4
2019年11月期第3四半期	90,365	14.1	7,558	39.1	8,089	32.3	5,312	38.4

（注）包括利益 2020年11月期第3四半期 2,011百万円（△29.2%） 2019年11月期第3四半期 2,841百万円（9.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第3四半期	56.89	—
2019年11月期第3四半期	73.08	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年11月期第3四半期	143,533	92,731	63.4	1,268.45
2019年11月期	148,707	93,344	61.8	1,264.35

（参考）自己資本 2020年11月期第3四半期 90,939百万円 2019年11月期 91,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2020年11月期	—	12.00	—	—	—
2020年11月期（予想）	—	—	—	14.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年11月期の連結業績予想（2019年12月1日～2020年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	△18.5	7,300	△30.3	8,000	△28.3	4,400	△32.5	60.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期 3 Q	86,478,858株	2019年11月期	86,478,858株
② 期末自己株式数	2020年11月期 3 Q	14,785,546株	2019年11月期	13,785,202株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期 3 Q	72,423,587株	2019年11月期 3 Q	72,694,545株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料記載の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、上記の予想と実績との間には、今後の様々な要因によって差異が生じる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 経営成績の状況

ニッケグループは、2017年を初年度とする中長期ビジョン「RN（リニューアル・ニッケ）130ビジョン」において、今後10年間の目指す方向性、企業像、経営戦略を再構築し、更なる中長期的な企業価値の向上を目指すことを掲げております。当連結会計年度は「RN130ビジョン」の具現化に向けて、第1次中期経営計画（2017～2019）3ヶ年の取り組みを改めて検証するとともに、更なる強固な事業基盤の構築と中長期の戦略策定に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高76,492百万円（前年同期比15.4%減）、営業利益6,621百万円（前年同期比12.4%減）、経常利益7,411百万円（前年同期比8.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,120百万円（前年同期比22.4%減）となりました。

人とみらい開発事業の通信関連分野における事業再編や、産業機材事業等で新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け減収減益となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

①衣料繊維事業

衣料繊維事業の当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高22,733百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は1,501百万円（前年同期比36.6%増）となりました。

（ユニフォーム分野）

学校制服用素材の販売は、新型コロナウイルス感染拡大による休校の影響により、夏物商材の需要減少や次年度向けの出荷がずれ込みましたが、価格改定前の早期引取りが旺盛であったため、好調でした。官公庁制服用素材の販売は、警察・消防ともに新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う制服調達予算の削減や出荷のずれ込みにより低調でした。一般企業制服用素材の販売は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、交通、接客およびサービス関連の需要が大幅に減少し低調でした。

（テキスタイル分野）

一般衣料用素材は、国内販売および海外販売ともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う市況悪化が長期化しており、前年同期に比べて受注が大幅に落ち込み低調でしたが、2020年3月に株式を取得した第一織物株式会社を連結対象としたことにより、前年同期並みとなりました。

（ヤーン分野）

売糸は、高付加価値品に販売を絞り込んだ影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う市況悪化が長期化しており、前年同期に比べて受注が落ち込み低調でした。

②産業機材事業

産業機材事業の当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高13,982百万円（前年同期比25.8%減）、営業利益823百万円（前年同期比43.9%減）となりました。

（自動車関連分野）

自動車生産が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け大幅に減少し、車両向けの不織布や縫製糸、結束紐などの受注は低調でした。車載電装品他製造ラインのファクトリーオートメーション設備についても、顧客の設備投資抑制の影響を受け、受注が大幅に減少し低調でした。

（環境関連分野）

集塵用フィルターなどの環境関連資材は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け低調でした。エネルギー関連についても低調でした。

（その他産業関連分野）

OA向けおよび家電向け資材や工業用資材は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け低調でした。半導体関連装置および画像検査装置についても低調でした。

（生活関連分野）

ラケットスポーツ関連、フィッシング関連は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく低調でした。生活関連資材についても、楽器用を中心に受注が大幅に減少し低調でした。

③人とみらい開発事業

人とみらい開発事業の当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高24,657百万円（前年同期比29.2%減）、営業利益4,610百万円（前年同期比15.2%減）となりました。

（開発関連分野）

商業施設運営関連は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、食料品販売店等の一部店舗を除き休館した影響により減収となりました。ソーラー売電事業は、悪天候の影響により減収となりました。また建設関連は前年

度を大きく上回る受注状況となったことに加え、2019年4月にグループに加わった電気設備工事会社も好調でしたが、販売用不動産を売却した前年同期との比較では減収となりました。

（ライフサポート分野）

保育・学童保育関連は、2019年4月に開園したバイリンガル幼稚園（千葉県市川市）が2年目を迎え、新学年の入園者を獲得できたことで増収となりました。介護関連は、2019年10月に訪問介護関連の会社がグループに加わったことや、施設への入居数が増加したこと、スタッフを増強したこと等の効果が表れ好調でした。一方、スポーツ関連は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり利用者数が減少し低調でした。

（通信及び新規サービス分野）

通信関連は、携帯事業を取り巻く環境に対応すべく事業再編を行っており大幅な減少となりました。新規サービス関連は、菓子類販売、児童向けアミューズメント施設の新規出店の効果はあるものの、TSUTAYA不採算店舗の閉店や、一部施設で新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、臨時休業した影響で低調でした。

④生活流通事業

生活流通事業の当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高12,716百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益906百万円（前年同期比19.3%増）となりました。

（寝装品及び業務用品分野）

EC向けの寝装品は暖冬の影響や一部商流の見直しにより販売が減少しました。また災害用備蓄毛布や航空機内膝掛け毛布の販売は新型コロナウイルス感染拡大の影響で不調でした。

（生活雑貨分野）

100円ショップ向け雑貨の販売や家具販売は好調でした。またEC向け生活家電は消費税増税後の反動減がありましたが、巣ごもり消費の需要が高まり好調でした。

（ホビー・クラフト分野）

スタンプ用インク、スタンプの販売は新型コロナウイルス感染拡大の影響で低調でした。乗馬用品販売は前年第3四半期に株式会社日本馬事普及がグループに加わりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で低調でした。

（その他）

保険代理店の業績は前年同期並みでしたが、コンテナ販売は新規設置が減少し低調でした。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月10日公表の予想数値より変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,088	28,142
受取手形及び売掛金	30,167	19,851
商品及び製品	16,175	17,846
仕掛品	6,951	7,091
原材料及び貯蔵品	1,925	2,289
その他	1,792	2,047
貸倒引当金	△74	△64
流動資産合計	82,027	77,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,305	25,450
機械装置及び運搬具（純額）	5,357	5,006
土地	7,402	7,670
建設仮勘定	454	550
その他（純額）	934	862
有形固定資産合計	39,454	39,540
無形固定資産		
のれん	1,412	1,234
その他	706	730
無形固定資産合計	2,118	1,965
投資その他の資産		
投資有価証券	21,154	20,900
長期貸付金	2	—
破産更生債権等	136	119
長期前払費用	291	285
退職給付に係る資産	334	335
繰延税金資産	933	1,129
その他	2,415	2,201
貸倒引当金	△162	△146
投資その他の資産合計	25,106	24,824
固定資産合計	66,679	66,329
資産合計	148,707	143,533

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,484	8,638
短期借入金	13,766	19,206
1年内償還予定の社債	110	10
未払法人税等	2,319	754
引当金	734	907
その他	7,937	7,017
流動負債合計	40,353	36,534
固定負債		
社債	10	—
長期借入金	3,589	4,023
繰延税金負債	1,210	256
退職給付に係る負債	2,452	2,445
長期預り敷金保証金	6,704	6,563
資産除去債務	406	411
その他	636	567
固定負債合計	15,009	14,267
負債合計	55,362	50,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,465	6,465
資本剰余金	4,468	4,468
利益剰余金	86,398	88,670
自己株式	△9,434	△10,473
株主資本合計	87,898	89,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,095	1,918
繰延ヘッジ損益	78	43
為替換算調整勘定	182	119
退職給付に係る調整累計額	△344	△272
その他の包括利益累計額合計	4,012	1,808
非支配株主持分	1,434	1,792
純資産合計	93,344	92,731
負債純資産合計	148,707	143,533

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年12月1日 至 2019年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年12月1日 至 2020年8月31日）
売上高	90,365	76,492
売上原価	67,290	54,262
売上総利益	23,074	22,230
販売費及び一般管理費	15,516	15,609
営業利益	7,558	6,621
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	533	491
持分法による投資利益	157	331
その他	165	258
営業外収益合計	872	1,094
営業外費用		
支払利息	65	62
為替差損	70	30
その他	204	211
営業外費用合計	341	304
経常利益	8,089	7,411
特別利益		
投資有価証券売却益	629	7
固定資産売却益	180	—
関係会社株式売却益	19	—
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	—	199
特別利益合計	829	206
特別損失		
投資有価証券評価損	100	260
事業構造改善費用	484	155
新型コロナウイルス感染症による損失	—	721
特別損失合計	584	1,137
税金等調整前四半期純利益	8,334	6,481
法人税、住民税及び事業税	2,975	2,485
法人税等調整額	△102	△228
法人税等合計	2,873	2,256
四半期純利益	5,461	4,224
非支配株主に帰属する四半期純利益	148	104
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,312	4,120

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	5,461	4,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,515	△2,165
繰延ヘッジ損益	△94	△36
為替換算調整勘定	△106	△29
退職給付に係る調整額	110	69
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△52
その他の包括利益合計	△2,619	△2,213
四半期包括利益	2,841	2,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,696	1,916
非支配株主に係る四半期包括利益	145	95

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

（1）連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、ホクレン㈱、㈱スクーデリア他1社を連結の範囲に含めております。

第2四半期連結会計期間より、株式取得により子会社となったため、第一織物㈱を連結の範囲に含めておりません。

（2）持分法の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2020年1月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株の取得を行ったことを主な要因として、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,038百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が10,473百万円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自2018年12月1日至2019年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	24,028	18,844	34,837	12,655	90,365	—	90,365
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	185	126	491	448	1,252	△1,252	—
計	24,214	18,971	35,328	13,104	91,618	△1,252	90,365
セグメント利益	1,099	1,467	5,436	759	8,763	△1,204	7,558

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,204百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,217百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自2019年12月1日至2020年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1)外部顧客への売上高	22,733	13,982	24,657	12,716	74,090	2,402	—	76,492
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	204	344	535	314	1,397	3	△1,401	—
計	22,937	14,326	25,192	13,030	75,488	2,405	△1,401	76,492
セグメント利益	1,501	823	4,610	906	7,842	△60	△1,160	6,621

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,160百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,162百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおりません。